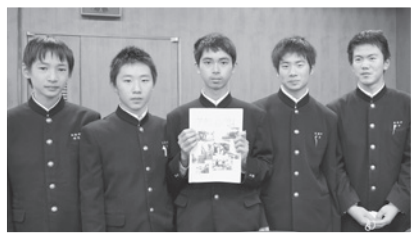


1班 多久町を多久聖廟で有名にしよう

ぼくたちの大好きな多久。他県からの観光客が少ないため、聖廟で多久の観光客を増やそうと思い、秋の収穫に来られた方にインタビューをしたり、チラシを配ったりしました。

活動して分かったことは、多久町を活性化させるには、若い世代の人、つまり自分たちが行動を起こさなければならないということです。さらに、多久聖廟の良いところ、例えば、緑が多いところや、多久の人がみんなで聖廟を大切に維持しているところなどを知ってもらい、多久を有名にしようと改めて思いました。



自分たちの意見をきちんと言うことができたのでよかった。とてもよい体験ができた。

2班 観光ルートマップ in 多久

多久には、聖廟や西溪公園、たくさんの自然があふれているにもかかわらず、多久への観光客が少ないという事実を知り、観光ルートマップを作ることで多久の活性化に努めようと思いました。

スムーズに観光でき、遠くの人が気軽に来られるようにスタート地点をバス停にして、2パターンを考えました。観光地のおススメポイント、昼食の場やお土産を買う場所を紹介し、市のパンフレットに載っていない、営業時間や定休日、おススメの商品を掲載しました。

多久の政治について、詳しく聞けたのでよい経験になった。もう少しかたいと思っていたけど、とても明るく気さくに話せました。



3班 聖廟お散歩コース

聖廟の他にも多久のいい所を知って、自然を感じてほしい。また多久の人にも、もっと多久のことを知ってもらいたい、そう考えて取り組みました。

お散歩コース（聖廟→滝→人形の家→西溪公園→八幡神社→聖廟 or 多久饅頭）を考え、地域の人にも意見を聞いて、現地調査をしました。

分かったことは、「地域の方は、地域の物を使った食べ物が食べられる所があればと思っている」、「東の原の滝に行く道を整備し、川の中の漂流物を取り除いたほうがいい」、「多久に観光客を増やすには多久の人がもっと多久について知ることが必要である」、「若い人が多久をもっと活気づけていく必要がある」ということです。



自分たちの活動をきちんと伝えることができました。楽しく会を進めることができてよかった。



特集

西溪中学校活動報告意見交換会

アクション24

ぼくたちの声を市役所に

西溪中3年生31人は、総合的な学習で、「自分たちのまちを知って、より良くするために何かできることはないか」と考え、調査活動したことを67ページの提案書としてまとめ、「ぼくたちの声を市役所に届けよう」と11月22日、多久市役所を訪れました。7グループに分かれて活動したことを横尾市長に報告。今後の多久が良くなるために行っしてほしいことを提言しました。



横尾市長から

グループごとにテーマを設け、現地を実際に歩いて、聞いて、考えて提案をまとめてくれてありがとうございます。身近な所で、自分が気付いたところを、「どうしたら良くなるか」と考え、聞くことは世の中を変えていく基本だと思っています。

みなさんから頂いた提案は、実現できるように工夫し努力していきたいです。